



Victorian Certificate of Education 2004

SUPERVISOR TO ATTACH PROCESSING LABEL HERE

STUDENT NUMBER

Letter

Figures

Words

--

JAPANESE FIRST LANGUAGE Written examination

Tuesday 16 November 2004

Reading time: 9.00 am to 9.10 am (10 minutes)

Writing time: 9.10 am to 12.00 noon (2 hours 50 minutes)

QUESTION AND ANSWER BOOK

Structure of book

Section	Number of questions	Number of questions to be answered	Number of marks	Suggested times (minutes)
1 – Part A	3	3	5	60
– Part B	4	4	10	
2	1	1	15	60
3	4	1	10	50
			Total 40	170

- Students are permitted to bring into the examination room: pens, pencils, highlighters, erasers, sharpeners, rulers and any printed monolingual or bilingual dictionary in one or two separate volumes.
- Students are NOT permitted to bring into the examination room: blank sheets of paper and/or white out liquid/tape.
- No calculator is allowed in this examination.

Materials supplied

- Question and answer book of 21 pages, including **Assessment criteria** on page 21.

Instructions

- Write your **student number** in the space provided above on this page.
- Write all your answers in the spaces provided in this question and answer book. The spaces provided give you an idea of how much you should write.

At the end of the examination

- Hand in this question and answer book at the end of the examination.

Students are NOT permitted to bring mobile phones and/or any other electronic communication devices into the examination room.

This page is blank

SECTION 1 – Listening and responding

Instructions for Section 1 – Part A

You will hear one text. It will be played twice. There will be a short break between the first and second playings of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in **JAPANESE**.

TEXT 1

Question 1

大根のラベルに埋め込まれている I C タグの利点を書きなさい。

Question 2

他に、I C タグはどのような分野で使われているか、その例を 1 つ書きなさい。

Question 3

I C タグが本格的に普及していない理由は何か、3 つ挙げなさい。

- ---
- ---
- ---

You may make notes
in this space.

Instructions for Section 1 – Part B

You will hear one text. It will be played twice. There will be a short break between the first and second playings of the text. You may make notes at any time.

Listen carefully to the text and then answer the questions in **JAPANESE**.

TEXT 2**Question 4**かわむら

河村教授は少子化の問題点は何だと言っているか、書きなさい。

Question 5

河村教授は少子化が進むと日本の人口はとなると予想しているか。括弧かっこ内に適当な数字や言葉を書き入れなさい。

2006 年の（ ）人をピークに、日本の人口は減り続けると予想される。2100 年の総人口は（ ）人、つまり現在の人口の（ ）と考えられる。

Question 6

どうして少子化が起こっているのか、原因を三つ挙げなさい。

- _____
- _____
- _____

You may make notes
in this space.

河村教授の話から、最近、結婚が先延ばしになる理由を150字位でまとめなさい。

[illegible]

Total 15 marks

SECTION 2 – Reading and responding

Instructions for Section 2

Read the two texts and then answer the question in 1000–1200 *ji* in JAPANESE.

TEXT 1

『変わる入試：2』 危機感 出題に新潮流

＜円周率が3.05より大きいことを証明せよ＞。今年2月の東京大前期入試。数学の問題だ。森岡優志さん（20）＝同大1年＝は最後のページをめくって出てきた1行だけの問題に目を見張った。目にしたことがないタイプの問題だった。円周率は「3.14」として、小学校の算数で習った基礎事項だ。「3.05より大きいのは、みんな知っている。きっと、円周率について受験生がどう考えているかみたいんだな」と思った。森岡さんは、円に内接する正二十四角形を書いて考えることを思いついた。10行足らずの答えだったが、予備校で確かめたら正解だと言われた。

数学教育関係者らの反応はさまざまだった。「はじめにやり方ありきではなく、定義に戻って考えさせる絶賛すべき問題」「思いつきで中学生にも解けてしまう」「小学校の学習指導要領の改訂をめぐり、円周率をどう教えるか話題になった。受験生が、そんなことに興味を持っているかもみている」。

東大の入試は、よく練られた良問が多いとされる。03年度入試を担当した教授は円周率の問題についていう。「考え方をみたい。試験問題は大学が発信する最大のメッセージだ」。大手予備校・河合塾の松井悦夫・進学事業本部長は「昨年あたりから、入試問題に新たな流れができ、その一つに思考力重視があげられる」という。

東北大の03年度工学部AO（アドミッションズ・オフィス）入試（注）の小論文問題。Chicken and Egg（鶏にわとりが先か卵が先か）問題について、＜具体例をひとつあげ、300字～400字で論じなさい＞。小論文や面接など大学独自のやり方で求める学生を選ぶのがAO。「研究者に欠かさない論理的な思考力などをみている」と大家清おおやきよしアドミッションセンター長はいう。

早稲田大理工学部が導入したAOタイプの入試。04年度は、人がこいでいる状態の自転車を図に描いたうえで、＜ブレーキがどのようにして車輪の回転を止めるのかその作動原理を説明しなさい＞という問題があった。「創造力のある学生を発掘したい」からだ。

予備校関係者らによると、マークシート式の共通1次試験（79年から）、その延長にある大学入試センター試験（90年から）の「弱点」を補うために大学ごとの試験では、記述式などの出題が増えた。さらに「学力低下」問題で危機感が広がったという。

You may make notes
in this space.

高校や中学入試でも似た傾向^{けいこう}が出ている。東京の私立開成中の国語。今春は長文総合問題2題で計7問。6問は、登場人物の心情などを最大100字で説明するよう求める記述式だった。

全日制公立高として初の独自作成問題を導入した東京都立日比谷高の数学の解答用紙は、途中^{とちゅう}式などを書く空白が解答欄^{らん}の倍はある。経緯^{けいい}を重視しているからだ。

奈良県の公立高入試（03年度）の国語では、「いいですよ」という言葉が、同意と断りと二つの意味を持つことを読みとらせ、それぞれの意味が間違いなく伝わるには、どう工夫するかを書かせた。

入試問題に詳しい亀井信明・高等教育総合研究所代表は大きな背景を「豊かな社会になり、あふれる情報を処理する力はあるが自分で考える力が衰^{おとろ}えた。そうした危機感と重なり、入試問題が進化してきた」とみる。

（注）＜AO入試＞ 米国の有力大学を参考に開発した選抜^{せんぱつ}方式。アドミッション・オフィス（A・O＝入試事務室）が志願者を多面的に評価して入学者を決めようとするもの。面接、論文、グループ討論などで志願者の意欲や目的意識を測る。出身校の校長の推薦^{すいせん}を必要としない原則。「AO元年」と呼ばれた01年に導入校は200校を超え、03年は大学の約半数の337校（入学者2万5210人）に膨^{ふく}らんだ。大半は私立大だが、国公立大も21校（1254人）にのぼる。

You may make notes
in this space.

TEXT 2

You may make notes
in this space.

最近の入試の実情を追った連載^{れんさい}「変わる入試」に、100通近い投書^{しょうかい}が寄せられた。その中からいくつかを紹介しよう。

私立高2年 女子匿名^{とくめい}（17）

考える力を重視する入試がふえることは、不安だ。学校での定期試験や模試での成績は、上位であっても意味がないような気がしてきた。私はずっと努力して勉強してきたが、これからの入試はそれだけでは乗り切れないようだ。学校の勉強では、このような「考える入試」についての対策はなかなかできない。だからといって柔軟^{じゅうなん}な思考力を身につける方法もわからない。これからの勉強法を見直していかなければいけないと感じた。

留学サポート・作家 ロバート・ミックミランさん（39）

私の母国カナダでは、高校への入試はない。重視されるのは中学での成績。いい成績をとるには、授業中に積極的に発言することが不可欠だ。「自分で生きていける力を持った生徒を育てる」というカナダの価値観が表れている。テスト目的の暗記に重点をおいた日本の入試制度は、勤勉な生徒を作る魔法^{まほう}のように見える。しかし、一方で「疑問を持つ」という能力を押さえつける結果をもたらしているのではないか。日本の伝統的な価値観は、カナダでも好意的に受け入れられている。これに質問できる能力が加われば、日本は世界の舞台^{ぶたい}で大きな影^{えい}響^{きやう}力を持つようになるだろう。

経済同友会代表幹事^{きたしろかくたろう} 北城恪太郎さん（59）

有名大学に入れば目的を達したとする考え方は今の時代にそぐわなくなっている。かつて、経済界が一流大学卒業生を重用した歴史があり、学生も保護者も有名校進学が社会への近道と見てきた。しかし、大半の企業^{きぎょう}は大学のブランドではなく、そこで何を学んだか、自分で課題を発見、解決する力を身につけているかなど人物重視で採用するようになっている。保護者の側にこの変化が伝われば、大学の選び方も変わってくる。

今後は入試の客観性への過大なこだわりも改めたい。1点、2点の多い、少ないにどれほどの意味があるのか。一定の水準の点数があれば、あとは大学が自校の教育目標に合った学生を多角的な視点から選ぶ。それが一番いい仕組みだ。学生をどう選ぶかは教育の第一歩。時間と手間をかけて志願者の特性を見るAO入試の広がり期待したい。

今後は大学に入った後の教育の中身が一層問われ、入学すれば簡単に卒業できる仕組みは通用しなくなる。したがって、中学、高校では、何のために勉強するのか、という動機を生徒に持たせる教育が重要になってくる。今までは、多くの生徒にとって、とにかく、いい大学へ進むことが動機になっていたが、学びの本質からは外れたものだった。動機づくりには、将来、社会のどの分野で活躍^{かつやく}したいかを中学生、高校生に常に問いかけることが欠かせない。将来像が明確になれば、どんな知識が必要かが分かり、学ぶ意欲がわいてくる。これは適切な大学選択^{せんたく}につながっていくはずだ。

元高校教師 深川^{ふかがわ}やすとしさん (63)

玉石混交の社会だからこそ、逸材^{いつざい}は生まれる。精緻^{せいせい}（せいち）な選抜^{せんぱつ}方式の場合、進学塾^{しんがく}などで鍛えられ、対策^{たいさく}を身につけた子ほど有利。親が教育熱心かどうかということと、経済力がものを言う。そんな選抜^{せんぱつ}方式では、埋^うもれた宝の原石^{みのが}を見逃^{みのが}してしまうのではないか。20年以上前に私が担任した生徒たちは、個性豊かな子どもたちだった。補欠^{きふけつ}で入学しながら、3年間で500冊もの本を読み、希望する大学に進んだ子もいた。今、私は人物重視のAO入試に期待している。スポーツ入試や一芸一能^{いつい}推薦^{すい}入試など客寄せ的なものではなく、未来の社会を創造していく若者を選ぶようなAO入試であってほしい。

You may make notes
in this space.

Question 8

将来、日本の大学に進学を希望しているオーストラリア在住の日本人10年生のために、あなたは「日本の大学入試の変化」についてスピーチをすることになりました。『変わる入試』についての新聞社説と、読者からの投書の二つの資料を使い、日本の大学入試の変化についてまとめて、その全体像を伝えるスピーチ原稿^{げんこう}を書きなさい。(長さ:1000—1200字)

Total 15 marks

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

SECTION 3 – Writing in Japanese**Instructions for Section 3**

Answer **one** question in 1400–1600 *ji* in **JAPANESE**.

Space is provided on the following page to make notes.

Question 9

1 日中人々が立って私を見えています。ある人は幸せそうに、ある人は悲しそうに、いろいろな顔をして見えています。私に話しかけてくる人もいます。時には、食べ物を^{あた}えてくれる人もいます。動物園にいるトラとしてあなたの生活を書きなさい。その物語は子供向けの児童書に載ります。

OR

Question 10

最近では、医学技術が進歩したおかげで、美容整形が安心して、きれいに出来るようになりました。プチ整形というメスを使わない新しい技術もあり、気軽に美容整形が受けられます。これについて賛成の立場と反対の立場の両方を踏まえてあなたの意見を雑誌に載せることにしました。そのレポートを書きなさい。

OR

Question 11

あなたは幼い頃^{こころ}から体を動かすことが好きで、いつもサーカスで働きたいと思っていました。そして、小学校時代からのトレーニングが実を結び、サーカスに就職することができました。そして、先月、初めてサーカスの団員として二週間の公演旅行に参加しました。その時の経験や気持ちを一日、日記に書きなさい。

OR

Question 12

相撲^{すもう}は日本の国技です。伝統的に女性の参加は認められていません。その一方で、小中高校生をはじめ社会人まで、女子で相撲^{すもう}をする人が増えてきました。賛成、反対両方の立場をふまえた上であなたの意見をスポーツ雑誌の投稿欄^{とうこうらん}に載せるための手紙を書きなさい。

Total 10 marks

You may make notes in this space.

Question No.

[illegible]

[illegible]

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features horizontal dashed lines spaced evenly down the page. Vertical solid lines divide the page into columns of varying widths, typical of handwriting practice paper. The entire page is white and contains no text or other markings.

[illegible]

Assessment criteria

The extent to which answers demonstrate:

Section 1: Listening and responding

Part A

- the capacity to understand and convey general and specific aspects of texts

Part B

- the capacity to understand general and specific aspects of texts
- the capacity to convey information accurately and appropriately

Section 2: Reading and responding

- the capacity to identify and synthesise relevant information and ideas from the texts
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy, range and appropriateness of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)

Section 3: Writing in Japanese

- relevance, breadth and depth of content
- appropriateness of structure and sequence
- accuracy of vocabulary and grammar (including punctuation and, where relevant, script)
- range and appropriateness of vocabulary and grammar